



第3世顕智上人



第2世真仏上人

高田 本山 だより

発行所
真宗高田派宗務院内
三重県津市一身田町2819
電話 059-232-4171
FAX 059-232-1414
HP www.senjuji.or.jp



発行部数 33,000部

大恩会近づくと

本寺輪番 鼎 照生



窓の外は冷たい風が吹いています。私が本寺専修寺に再度赴任しましたのは昨年の九月のはじめでした。六ヶ月がすぎでいます。報恩講は東京組の団体参拝もあり賑やかに勤めさせて頂きました。除夜の鐘も大きな篝火の中で多数の参詣者によって盛大にすすすことが出来ました。そして今酷暑の二月を迎えています。暖冬とは言うものの朝の空気は関東平野の中央部にある高田の付近では酷しいものです。全く寒行の毎朝です。

さて、年がかわり平成十九年を迎えましたが、真仏上人、顕智上人の大会が来年三月に執行されることになり、本山に先だち本寺で両上人の大会が三日間営まれます。三月の末にもなれば陽気もよくなります。本山からバスによる団体参拝も計画されますがどうぞこのご縁をいただき賑やかに執行されるよう念じている次第です。

真仏上人は茨城県真壁の城主の地位を譲り早くから親鸞聖人に帰依され、聖人門弟の第一番のお弟子となられ、関東門徒の中心人物でおられます。高田専修寺建立の実力者でもあります。高田三代の顕智上人とともに高田の基礎を作られたのであります。

顕智上人は真仏上人が聖人より先に御他界されたので、聖人が京都での葬送の儀を実行され御廟を建立されました。

最近の世相は誠に嘆かわしいことの連続です。昨年の漢字は「命」と示されましたが、本堂に末法の世相そのものです。両上人の大会、開山聖人七百五十年遠忌報恩大法会にあたり、又、本山御影堂の平成大修理の完成を目前に控え、私達門徒一同襟を正して、念仏一途の生活、報恩と感謝の生活、寝ても覚めても南無阿彌陀仏の生活を頂いて参りましょう。

平成の「高田もうで」の再来を願い、御参詣をお待ちしております。合掌





巨大な唐門の華麗な彫刻

宝物館主幹 平松令三

この写真は申し上げるまでもなく本山の唐門です。如来堂の真正面にあります。如来堂がいかに阿弥陀様の御堂らしく重厚華麗なのをうけて、御門は典雅な檜皮葺で、しかも軒先を大きく反転させた優美な唐破風としています。心憎いまでの伽藍

配置で、三重県指定の文化財となっています。

この門が建てられたのは、専修寺伽藍の中で一番最後で、文化六年（一八〇九年）から良好な檜材を選びすぐって、木挽ぎを始め、それから三十五年もかかって、天保十五年（一八四

四年）によりやく

上棟に漕ぎつけています。大工棟梁は如来堂建立の棟梁の孫にあたる高木作右衛門です。

こういう形式の唐門は全国に数多くありますが、これほど巨大なのは数少なく、おそらく五本の指に入らないのではないうか。

正面の扉の上には、十六弁の大きな菊紋が金色に輝いています。こ



れはいうまでもなく皇族がこのお寺の住職になっておられる、いわゆる門跡寺院のしるしです。そしてそれを中心に、小壁や欄間など、この門の空間は、菊や牡丹の透かし彫りで埋めつくされています。それらは実に豪華でしかも繊細です。私は近年眼を損じましたのでよく見えなくなっていました。したが、門の真下に立って上を見上げると、牡丹の間に獅子の親子が戯れ合っている彫刻や、両脇には仁王さんが彫ってあったように記憶しています。みなさんも探してみてください。

本山の如来堂（本堂）は阿弥陀如来様を、ご本尊に、御影堂（祖堂）はご開山親鸞聖人のご真影を中心におまつりされています。御正忌報恩講（お七夜さん）は、親鸞聖人のお徳に報いるお参りですから、本来は御影堂を中心に厳修されるのですが、平成十三年から七年間は御影堂大修理のため、親鸞聖人のご真影は一般寺院と同じように、阿弥陀様にむかって右側に安置されて、如来堂でお勤めされました。来年的お七夜は八年ぶりに改修工事が終わった御影堂で行われます。寛文六年（一六六六）に建てられた日本の重要文化財建造物でも五指に入る大きなお堂が、建立当時を思わせる美しい姿で参詣に來られるみなさんをお迎えするでしょう。



如来堂で最後のお七夜

御本山御用達

鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）
電話 (075)371-0854・8181~2番
FAX (075)344-2701番
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

京仏壇京仏具・ご本堂内装
お仏具ご修復・お納骨壇



高田本山御用達

京仏具

小堀

本店/京都市下京区烏丸通正面上る ☎(075)341-4121(代)
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈！ お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」

お申し込みはこちらから フリーダイヤル(本店) 0120-27-9595

大恩会

第二世真佛上人七五〇年忌
第三世顕智上人七〇〇年忌
本寺 平成二〇年三月二八日〜三〇日
本山 平成二〇年四月一八日〜二〇日

真佛上人のご生涯

真佛上人は承元三年（一二〇九）に下野の国司で真壁の城主国春の嫡男春時として誕生されたと伝えられています。十七歳の七月国司である父が亡くなり、一度は父の跡を継ぎましたが、幼い頃から信仰に厚く、華やかな生活を送る

綱に譲って、剃髪して親鸞聖人の弟子とされました。

聖人が京都へ帰られた後も、関東を中心に活動をされました。数多い親鸞聖人のお弟子さんの中でも、真佛上人の一門は最も数が多く、高田派だけでなく同じ真宗の仏光寺派や興正派も真佛上人を第二祖とされています。また後に三河や



北陸に布教を展開する和田門徒も真佛上人の流れを受けています。また親鸞聖人二十四輩というお弟子さんの中でも、法然上人門下の時から聖人と一緒だったと言われる性信房（しょうしんぼう）に続く、第二に真佛上人が数えられています。上人は、親鸞聖人のご著書を数多く書写されており、親鸞聖人が加筆された三帖和讃（国宝）や教行証文類（重要文化財）など貴重な資料が本山の宝物館に保存されています。

顕智上人のご生涯

顕智上人は嘉禄二年（一二二六）のお生まれで、余五將軍平維茂の子孫平基知の養子となられたと伝えられています（一説には生年不詳）。

比叡山で十年修行された後、仏光寺派や興正派の第三祖とされる専信房専海上人と同日に真佛上人の門下になりました。

京都に帰られた親鸞聖人を訪ねて、毎年二、三回は下野と京都を往復されたそうです。一二五六年に真佛上人ともに



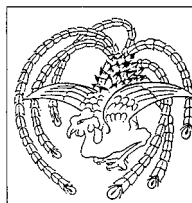
京都を訪れた際に、いただいた親鸞聖人直筆のお名号は今も高田本山に保管されています。また京都への途中にある伊勢国や近江国などで布教活動を

されました。真佛上人がなくなられた後は高田門徒の中心となり、一二六二年に親鸞聖人が亡くなられた時には、顕智上人と専信上人が立ち会われて、葬儀をつとめられました。

本山や本寺の御廟にはこの時に顕智上人が持ち帰られた親鸞聖人の歯骨が納められています。その後も、大谷廟堂（本願寺の前身）の留守職をめぐって覚如と唯善が争った時に、間に入って仲裁をするなど、初期の真

宗教団の中心になって活動をされました。延慶三年（一一三一〇）七月四日（新暦八月十二日）が顕智上人のご命日とされていますが、言い伝えによりますとその日、辰の刻（午前八時）に下野の本寺金堂で焼香をされた後、午の刻（午前十二時）に伊勢国鈴鹿三日市の如来堂で説法され日没とともにお姿が見えなくなるとされています。現在の交通機関を使っても不可能なほどの移動時間ですが、お若い頃から毎年何度も下野と京都を往復され、

老年になられてますます精力的に各地で布教活動をされる顕智上人のお姿から、このような超人的な言い伝えが残ったのでしょうか。栃木県の本寺専修寺や鈴鹿市三日市の兼帯所如来寺・太子寺では今も八月に顕智上人を偲ぶ「高田まち」や「恩愛会」が勤められています。



仏壇・仏具
ぬし与

ホーオーが目印！

六代目 **(株)ぬし与仏壇店**

桑名本店・四日市店・鈴鹿店・蟹江店・大安店・阿下喜店

リレー法話

言葉

久野 俊彦

小学生の娘と話をしている
と「それってビミョー(微妙)。」
「キモイ(気持ち悪い)。」など
といういまどきの言葉がよく
出てきます。

この「微妙」という言葉は、
仏教では「みみょう」と発音し、
「計り知れぬほど深く優れて
見事なこと」を意味しています。
娘が使うような「良いとも悪
いとも言えない状態」を指す
ものではありません。

このように日常私たちが使
っている言葉には、仏教に由
来するものがたくさんありま
すが、それらの中には本来の
意味からかけ離れた用い方を
されているものが少なくあり
ません。

例えば「縁起」です。「縁
起が悪い」というように縁を
かつぐ場合に使われることが
多いですが、本来は「あらゆる
事象は何一つそれ自体で成
り立つものではなく、原因と
条件によって成立する」とい

う意味であります。

真宗の教えの根幹をなす「他
方本願」についても、阿弥陀
仏の願いや誓いのはたらきを
意味するのであって、他人任
せで自分は何も努力をしない
という意味あいでは決してあ
りません。

お釈迦さまが説かれた悟り
に至る正しい修行に、八正道(正
見・正思惟・正語・正業・正命・
正精進・正念・正定)があり
ます。その一つである正語と
いうのは、わかりやすく言え
ば「言葉を正しく使いなさい」
ということなのです。言葉は人と
人とが理解し合うために必要
不可欠な道具ですが、使い方
を誤れば人の心を殺しかねな
い凶器ともなります。私たち
仏教徒は、言葉の持つ本来の
意味を正しく理解して、正し
く使いたいものです。

「正しい」という言葉の本
来の意味は、「真理にかない、
調和のとれた」ということです。
結果や損得を優先してしま
うような私たちの身勝手な判断
による正しさのことではあり
ません。

(津市圓照寺住職)

灌仏会

四月八日午前十時半より

高田本山の山門の上には釈
迦三尊佛がまつられています。
急な階段を足下に気をつけな
がら上がると、中央にお釈迦
さま、左右に象に乗られた普
賢菩薩と獅子に乗られた文殊
菩薩のお姿があります。普段
は施錠されていて入ることが
出来ませんが、四月八日は、
十時半より灌仏会のお参りを
されます。その後、十時
くらいから十一時くらいまで、
参詣のみなさんにも開放され
ます。一年一度のこのご縁に
ぜひご参拝ください。



山門の上にある釋迦三尊佛

はなまつり

四月二十二日

お釈迦さまのご誕生をお祝
いする、子どもたちの集まりです。
当日、九時半から宗務院二
階で受付がはじまります。
参加された子どもたちのか
わいらしい手で、献花・献灯・
献香がおこなわれた後、新門
さまのお話をいただき、みん
なで生まれたばかりのお釈迦
さまの像に甘茶とお花をささ
げます。お天気がよければ、
お釈迦さまが乗られた白象を
みんなでひいて、一身田の寺
内町を回ったり、仏青インタ
ーアクトルクラブのお兄さんお
姉さんとゲームをしたりします。
参加は無料で、当日お越し
いただければけっこうです。



お釈迦さまに甘茶をささげます

ご法事のご会食 ご予約承り中

～少人数から団体のお客様まで是非ご利用ください～



お薦め商品(精進+和食ミックス)

本山会席

各種献立よりお選びいただけます。

◇精進料理 1人前 4,000円(税別) ◇本山会席 1人前 3,500円(税別)

お問い合わせ・ご注文は

人気商品 高田本山流 精進料理

◇自宅までマイクロバスでご送迎(5名より14名様まで)

高田青少年会館 TEL.059-232-6079

世の中安穏なれ 仏法ひろまれ

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、
天井画などの制作と修復・復元承ります。その他
石工、木地、漆、箔押、鍍金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の
職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所

〒514-0114 三重県津市一身田町2819

TEL.059-232-4171 FAX:059-232-1414

(本山宗務院内 絵所)

絵所頭

安川如風



御本山絵所

にょふう

ご和讃のお話

里榮 秀教

鸞師の教えをうけつたえ

綽和尚はもろとも

在此起心立行は

此是自力と定めたり

(道綽禪師第四首)



七高僧の第四祖、道綽禪師(綽和尚)を讃嘆されたご和讃です。

道綽禪師は伝によると五六二年中国山西省にお生まれになり、十四歳で出家されました。当時の中国は政治的な争い、水害、大飢饉が度々繰り返され、水害と共に、苛酷な廃仏の嵐が吹き荒れ仏教は激しく弾圧を受けました。また、正・像・末の三時の思想によりますます、ちようど末法の時代のはじめにあたりました。

末法の時代とは、仏教の歴史を正法、像法、末法と三つの時代に区分する世界観です。釈尊入滅から遙か遠く時を経て、仏の教えのみはあるがこれを修行する人もなく、教えを求め菩提(さとり)を得る人も

なくなつた五濁悪世(汚れた)の時代のことです。

禪師は一人の純粹な求道者として、この困難な時代の空気を深く感じとられたことでしょうか。このようなきにさとりを求めるにはどうしたらよいか、真の仏道とはどうあるべきか、自分はこれからどう生きていけばよいのかと、深く苦悶され、真剣にとるべき道を求められたに違いありません。禪師もまた、私たちがおち入りやすい戒律を守り努力・精進して専らに厳しい修行に明け暮れる道を自らに課されました。しかしそこで明らかになつたことは、これほど自身が善と思う修行をひたむきにしてきたのに、煩惱

を減することも、さとりの智慧を得ることもできないという厳肅な事実でした。

私たちは「我が身をたのみ、我が心をたのみ、我が力をはげみ、我がさまさまの善根をたのみ」(一念多念文意)自己中心的な自力のとりわれから一向に離れられません。自力のはからい心は「いかり、はらだち、そねみ、ねたむころおおく」(二念多念文意)私たちをますます混乱させます。苦惱、人生苦を感じさせる禪師のそのお姿に私は禪師を身近に感じます。

時代と自身のお姿を深く見つめられた禪師だからこそ、「鸞師の教えをうけつたえ 綽和尚はもろとも」鸞師(曇鸞大師)の教えに出会われ、深くうなずかれたに違いありません。

「在此起心立行は此是自力と定めたり」自力のはからい心は一向になくならず、それをたてに生きてきた私でありましたと根底から知ら



され「自力の心をむねとして」

(正像末法和讃)、決然とひるがえし、新たな地平「他力不思議にいりぬれば」(正像末法和讃) 如来の本願力におまかせして念仏する身にならしていただくことが、取るべき唯一の道だと、私たちにあきらかにしていただきました。八十四歳の入滅まで、末法五濁の時代を真摯に道を求められたご一生であつた禪師だからこそ、今もその文言は色あせず、今を生きる私たちの背中を押してくださいのです。親鸞聖人は、道綽禪師が曇鸞大師の教えを正しく受けつがれた証として、このご和讃をおつくりになり私たちに示してくださいました。(鈴鹿市箕田 法林寺住職)

緑と共に75年

三重県知事免許認可 (一級造園技能士) 造園・庭園管理

山本造園

代表 山本 進一郎

津市栗真小川町 869-77

TEL 232-7453

FAX 232-7453



高田本山御用達 三重県仏教会御推薦

石碑 記念 燈籠



高級御影石専門店

御影石材株

(石に御用の方は) 0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前) ☎059-224-1700(代)



日野家の氏寺 法界寺

仏事のQ&A

しんらんしょうにん

親鸞聖人のご生涯

はじめに

開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会も五年後に迫って参りました。それで今回から親鸞聖人のご一生をお話していくことになりました。

聖人はその九十年のご生涯の中で『顕浄土真実教行証文類』をはじめ、ご和讃、ご消息等多くの念仏の書を残され、そのご教化に心血をそそいで下さったのでありますが、ご自身の足跡についてのものはほとんどありません。わずかに

ご流罪に処せられたことと、法然上人から『選択本願念仏集』の書写を許され、内題字等を上人より書いていただいたよろこびが示されているのみであります。ご自身のありさまについて「名利の太山に迷惑す。」

(名誉欲・財産欲に迷う)と恥じ入っておられるのですが、決してそうではない聖人の謙虚さが自叙伝的なるもの無き所に仰がれるのであります。しかし、それゆえに、聖人のあゆみについては不明な部分が多く、いろいろの説も出てくるのですが、今回のシリーズに於いては従来から語り伝えられている所を重んじて行きたいと思えます。

①ご誕生

聖人がご誕生なさったのは承安三年(一一七三)。所は京都東の郊外、日野(伏見区日野)。父君の名は日野有範。母君の名は吉光女と伝えられています。

日野家は、藤原氏の一族で藤原氏といえは三百年もの間朝廷の重要ポストをほとんど独占し続けてきた大貴族です。これがいくつにか分かれた中の一つです。



聖人誕生の地(誕生院)

この日野家は前述の日野に領地を持ち、法界寺を氏寺としていました。後にこの東隣に誕生院が建てられご生涯の地とされています。境内に聖人の童子像があります。

聖人ご誕生の時代は、相次ぐ戦乱や地震等の災害に見舞われ、そのために多くの人命が失われ、人々は不安と絶望でおののいていた時代でした。これがまた、念仏者親鸞を生み出して来る背景でした。

聖人のご誕生は単に一人間が生まれたというのではなく、積尊がその出世本懐として明らかにして下さった、本願念仏のみ教えを、末世日本に広めて、救いの大道を明らかにして下さるお方のうぶ声であったのです。

(教学院第三部会)

お墓

寺標

墓地移転

霊園開発造成

高田本山御用達
石匠位認定店
全国優良石材店、認定店

創業100余年

ISHIEN STONES

株式会社 ストーンズ 石仙

(旧(有)山本石材店)

四日市市近鉄阿倉川駅前

☎0593-31-4114

サイコーイイ

高田本山御用達

井筒法衣店

京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

(〒600-8503)

電話 (075)351-1234(代)

フリーダイヤル ☎ 0120-075-720

フリーダイヤルFAX 0120-075-490

一緒に歌おう「高田コーラスの一日」

=法楽の集い=

♪合わせた手と手のむこうには
光の園が見えるでしょう♪

仏教に「讃歌」があるのをご存知ですか。お念仏が妙なる調べにのって、彼方に響きわたります。讃歌を用いた音楽演奏などでは、参拝者を魅了しています。

仏教讃歌には仏教の伝道のひとつとして、仏教の教えをやさしく身近に味わってもらいたいという願いから、山田耕筈や中田義直など、多くの作曲家が数々の名曲を生み出しています。

初夏の香りを感じて、思いのままに彩を操る、心豊かなとき、感性豊かにより美しく、より新しく心を満たす雅の心を美しいハーモニーに託し、ご指導の先生方の楽しいトークを交え、仏教讃歌の豊かな世界に、少しでも多くの方に触れて

いただきたいと念じています。今年は講師として、ご和讃を曲にされた岡崎在住の作曲家平田聖子先生をお招きし、参加者共々「弘誓の船」「本願力にあいぬれば」を作曲家直々のご指導のもと歌いたいと思います。

参加者募集	月 日	5月24日 (木)
	時 間	10時～15時10分
	場 所	高田青少年会館ホール
	参加者	2000円 (昼食費を含む)
	後 援	高田本山宗務院
	協 賛	高田青少年会館
お申し込み	隆	059-345-4719 高谷 0595-22-0893
	真置	0598-56-2192

「コーラス海」会員募集

すべての凡夫を受け入れみんな仏に成す「浄土」の働きを、親鸞聖人は「海」に譬えられました。『正信偈』「如衆水入海一味」の心に乗託して歌っていききたいというのが「コーラス海」の願いです。

ドイツではオペラ歌手を育てていらした波多野先生ですが、初心者にも懇切丁寧に指導して下さっています。

「歌う時に頑張らないで。私たちの体は何もしなければ歌うように出来ているのです。考えすぎて体のあちこちに力が入り、筋肉が緊張しすぎて声が体の中から出てこない。たくさん理屈を言えば言うほどうまくいかないのは、このためです。私たちは幸いに、仏様の歌を歌わせて頂いているので、自分であることを忘れた自分の体で、南無阿弥陀仏の心を頂いて慶びいっぱい歌うことを目指しましょう」と。

混声合唱。練習月一回（曜日は調整中）。
10時30分～12時30分。宗務院二階第二会議室。
会費半期6000円。

本山檀信徒研修会に出演、出前演奏としては末寺の永代経・花祭り・仏教婦人会等、また法友会とご縁をいただいて歌っています。

本年は、5月24日「第3回高田コーラスの一日」を開催するほか、8月下旬に「ドイツの恵光寺様に参詣し、親鸞聖人のご和讃を歌う」旅も計画しています。

みなさまのご参加をお待ちしています。

お申し込み	隆	059-345-4719 高谷 0595-22-0893
	真置	0598-56-2192



清掃奉仕ありがとうございました

汗を流して清掃奉仕

平成十八年 善昌寺
 平成十九年 随願寺
 一月 随願寺 心覚寺
 二月 西光寺 撰取院
 壽福院 良珠院



600-8342 京都市下京区花屋町西洞院西入
 振 F 電 永田文昌堂
 替 A 話 0755-33711
 0150-230044
 0200-490633
 611

梯 實圓著
白道をゆく
 善導大師の生涯と信仰
 定価2520円税込

稲城選患著
静的宗教と動的宗教
 定価5000円税込

稲城選患著
他力の信心は awakeか
 定価5000円税込

無名会同人編
仏と人40
 四天王寺の海源義春／お仏
 飯を歌う南部松田／生何
 最終のナール／信人との
 を担ぐのか森正隆／救済と
 いうことその一と救済と
 生正定聚をめぐると救済と
 尋常／非ず／中終に非ず
 高田慈昭／世の安穩なれず
 足利孝之／世の安穩なれず
 定価4100円税込

白川晴顕著
浄土真宗は 目覚めの宗教
 浄土真宗は目覚めの宗教、阿
 弥陀さまの見方と大きな温も
 り、親鸞聖人と常識を超えた
 教え、御正報講に寄せた
 の法話 定価12000円税込
 愚かになつて卒業等二十数篇、

これからの本山諸法会

◆涅槃会

三月十五日
お釈迦さまは今から二千数百年前のインド暦二月の満月の夜にお亡くなりになりました。これを現代の新暦の計算で三月十五日に相当すると解釈し、高田本山ではこの日に涅槃会を勤めます。

◆戦没者追弔法会

四月十一日
如来堂西側の位牌堂には、明治以後の大戦で戦死されたお同行の方々位牌が安置されています。

◆千部法会

四月十二日〜十七日
正式には講千部法会と言います。秋法会と同じく、進納所で講千部に加入いただいた方をご招待して勤まる法会です。賜春館で法主殿のご対顔をおおいだ後、本堂にて参詣します。

◆讃仏会

三月十八日〜二十四日
春のお彼岸の法会です。毎日、朝七時と昼十一時半の二回、勤行とお説教が勤まり、中日の二十一日には法嗣殿の御親教があります。

◆十万人講法会

四月六日〜十日
本山の護持団体である十万人講が主催する法会です。十万人講の加入された方が参詣され、本山内の賜春館で法主殿のご対顔をおおいだ後、

◆親鸞聖人降誕会

五月二十一日
宗祖親鸞聖人は、承安三年(一一七三年)の五月二十一日に日野の里に誕生されました。私たちに、お念仏の道を書いて下さった聖人のご誕生を祝い、法会が勤まります。

◆中学生教化令宿

三月二十八日〜三十日
これからの世の中を担っていく中学生が、高田派歴史に触れる機会をと催される旅行です。

◆写生大会

四月七日
幼児から中学生までを対象に、本山境内の風景を写生します。参加費用は無料、当日受付で午前十時から午後三時まで行われます。どうぞご参加ください。また優秀作は、はなまつりで表彰されます。

◆はなまつり

四月二十二日
お釈迦さまのご誕生をお祝いする、子どもたちの集まりです。生まれたばかりのお釈迦さま像に甘茶をおかけしたり、白象にのられたお釈迦さまをみんなでひいて寺内町を回ったり、仏青インターアクトクラブのお兄さんお姉さんとゲームをしたりします。参加は無料で、当日受付を行います。

◆興学布教研究大会

四月二十九日
高田派を代表して、真宗連合学会で研究発表をする人や、日頃布教活動をしている人が、高田派の僧侶や檀信徒の前に発表をする勉強会です。参加は無料で、当日受付を行います。

◆春季婦人連合研修会

六月六日・七日
別院や一般寺院の婦人会が集まって行う研修会です。毎年春と秋の二回、一泊二日で法式作法や法話、講演などを聴聞したり、座談会でコミュニケーションを深めたりします。

編集後記

先日、車を運転しながらラジオを聞いていたらリスナーから投稿された川柳が詠まれました。「がけつぶち 助けられるのは 犬だけか」

がけつぶちで苦しんでいるのは何も徳島の犬だけではない。そういう痛切な叫び声は聞かなくてきそうです。

がけつぶちで取り残されている犬、イノシシ罠に掛かってけがをしてしまった犬、心ない人のいたずらで矢の刺さった鳥などを見て心を痛めることは大切な感情だと思います。しかし日本中が徳島の「がけつぶち犬」に注目している間に、私たちはすぐそばにいるものに注目をして、救いの手を差し伸べることができたのではないかと思いました。

寺院名

